

# 平面上の点の座標 (3)

## ～ 平面上の外分点・重心の座標 ～

講師  
水谷 信也

学習のポイント

- ① 平面上の外分点の座標
- ② 三角形の重心とは？
- ③ 三角形の重心の座標の求め方

外分点の座標について考えよう。  
そして、三角形の重心の座標の求め方を学習し、  
実際に重心の座標を求めてみよう。

### 1 平面上の外分点の座標

平面上において、2点  $A(x_1, y_1)$ ,  $B(x_2, y_2)$  を結ぶ線分  $AB$  を  $m:n$  に外分する点の座標は、

$$\left( \frac{-nx_1 + mx_2}{m - n}, \frac{-ny_1 + my_2}{m - n} \right)$$

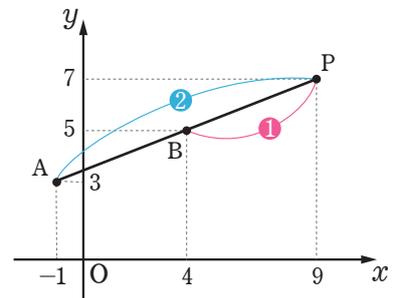
となります。

例 2点  $A(-1, 3)$ ,  $B(4, 5)$  を結ぶ線分  $AB$  を  $2:1$  に外分する点  $P$  の

$$x \text{ 座標は, } x = \frac{-1 \times (-1) + 2 \times 4}{2 - 1} = 9$$

$$y \text{ 座標は, } y = \frac{-1 \times 3 + 2 \times 5}{2 - 1} = 7$$

よって,  $P(9, 7)$



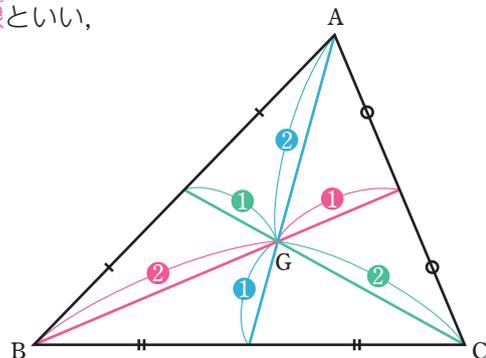
### 2 三角形の重心とは？

$\triangle ABC$  の各頂点と向かい合う辺の中点を結ぶ線分を **中線** ちゆうせん といい、

3つの中線は1点  $G$  で交わります。

その交点  $G$  を  $\triangle ABC$  の **重心** じゆうしん といいます。

重心  $G$  は、それぞれ中線を  $2:1$  に内分しています。



### 3 三角形の重心の座標の求め方

3点  $A(x_1, y_1)$ ,  $B(x_2, y_2)$ ,  $C(x_3, y_3)$  を頂点とする  $\triangle ABC$  の重心  $G$  の座標を求めてみましょう。  
 辺  $BC$  の中点  $M$  の座標は、

$$\left( \frac{x_2 + x_3}{2}, \frac{y_2 + y_3}{2} \right)$$

です。

$\triangle ABC$  の重心を  $G(x, y)$  とすると、

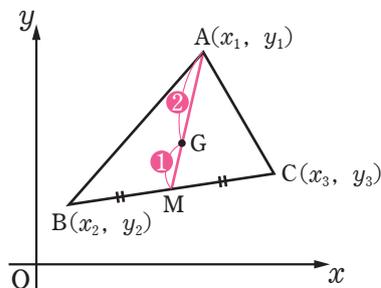
点  $G$  は中線  $AM$  を 2 : 1 に内分する点なので、

$$x = \frac{1 \times x_1 + 2 \times \frac{x_2 + x_3}{2}}{2 + 1} = \frac{x_1 + x_2 + x_3}{3}$$

$$y = \frac{1 \times y_1 + 2 \times \frac{y_2 + y_3}{2}}{2 + 1} = \frac{y_1 + y_2 + y_3}{3}$$

よって、重心  $G$  の座標は、

$$\left( \frac{x_1 + x_2 + x_3}{3}, \frac{y_1 + y_2 + y_3}{3} \right)$$

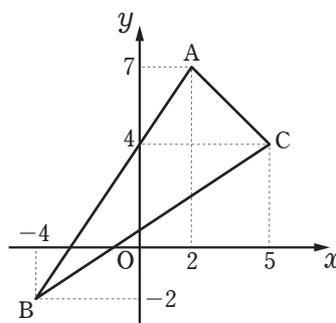


◻ 例 ◻ 3点  $A(2, 7)$ ,  $B(-4, -2)$ ,  $C(5, 4)$  を頂点とする  $\triangle ABC$  の重心  $G$  の

$$x \text{ 座標は, } x = \frac{2 + (-4) + 5}{3} = \frac{3}{3} = 1$$

$$y \text{ 座標は, } y = \frac{7 + (-2) + 4}{3} = \frac{9}{3} = 3$$

よって、 $G(1, 3)$



● 三角形の重心が一点で交わり、中線を 2 : 1 に内分する証明

△ABC で、辺 BC の中点を D、CA の中点を E、AB の中点を F とする。

中線 AD と BE の交点を G とすると、

BD = DC より、底辺の長さが等しく、高さが等しい三角形の面積は等しいので

△BDG = △DCG = S とおく

同様にして、

△CEG = △AEG = T とおく

また、△BCE と △BEA も底辺の長さが高さが等しいので面積が等しい。

つまり

△BCE = △BEA かつ △BCE + △BEA = △ABC より

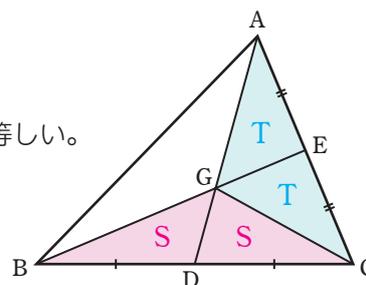
△BCE =  $\frac{1}{2}$  △ABC が成り立つ。

同様に △ADC と △ABD の面積は等しく

△ADC =  $\frac{1}{2}$  △ABC が成り立つので

△BCE = △ADC, S = T が成り立つ。

したがって、△ACG : △CDG = 2 : 1 より、AG : GD = 2 : 1 …… ①



また、中線 AD と CF の交点を G' とすると、

同様にして

△BDG' = △DCG' = U とおく

さらに、

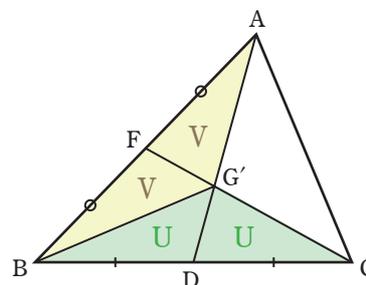
△AFG' = △FBG' = V とおく

△ABD = △BCF =  $\frac{1}{2}$  △ABC より U = V

△ABG' : △BDG' = 2 : 1 より AG' : G'D = 2 : 1 …… ②

①②より G = G'

以上より、3 本の中線は 1 点で交わり、中線を 2 : 1 に内分する。



※これは、放送の内容に沿った証明で、別の証明法として、D と E および D と F を結んで中点連結の定理を用いる方法もあります。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---